

# ドイツのQ1(?)住宅。 → 3リッターハウス

たまたま入った住宅の床を触ったら暖かったので「床暖房か？」と訊ねたところ、「天井と壁暖房だ」との回答を得た。カタログを戴き見てみると、今、話題の3リッターハウスだった。

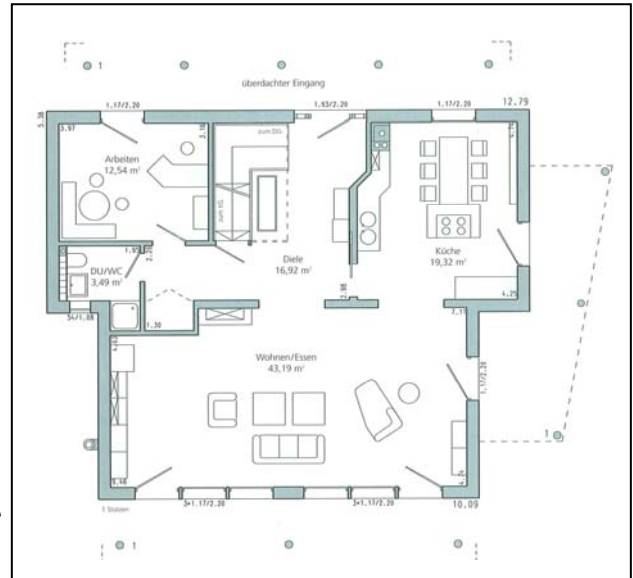
延床面積：190.22㎡、外壁断熱厚32cm ( $U=0.17$ )、天井  $U=0.19$  ( $W/m^2K$ ) (断熱素材不明)

性能値を見る限りでは、格別優れた値ではないが、「熱交換換気、天井・壁暖房、トリプル高性能窓、ペレット燃料ボイラー、太陽熱利用のシナジーテクニックで3リッターハウスを実現した。」とカタログには記載されている。

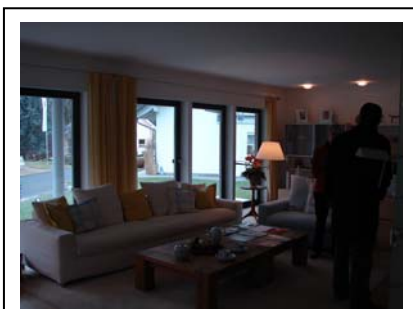
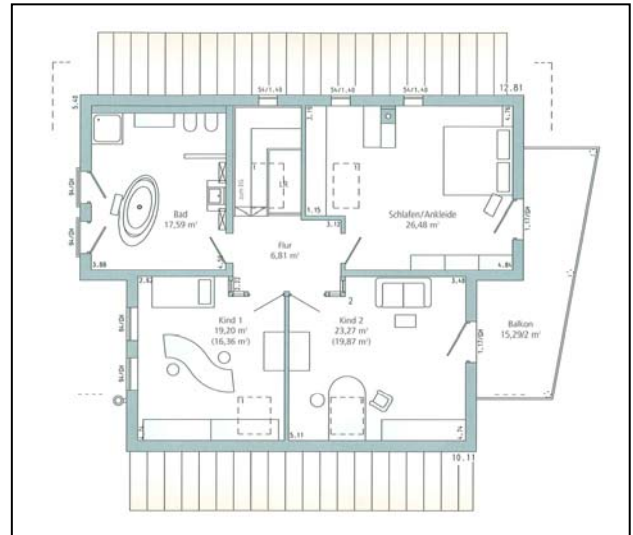
「直接効家」(直訳)と表現されていて躯体そのものを直接暖め壁や天井からの輻射熱で室内が低温でも心地よい温熱環境を実現し省エネを図ったのだろう。



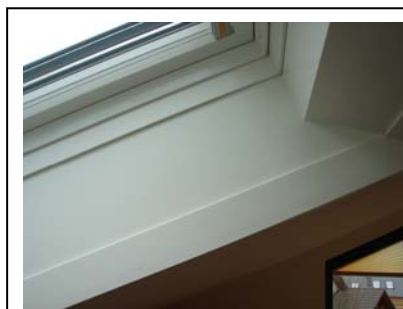
南面。Q1住宅と同じく南面に大きな開口部を設けている。夏の日よけに大面積の軒を設けているのは昼の時間が長いからか？いずれにしても夏の日照によく気を配っている。玄関、リビング、ダイニングキッチンが開放的なプランである。これは前述の暖房システムと関係があるかもしれない。



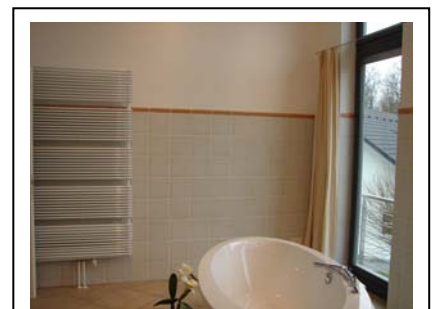
北面。開口部は小さい。自然光の不足を補う手段なのか2階北側の南面(写真上)の壁に小さな窓を3個設けている。



リビングの南側開口部。



断熱で分厚い屋根。



2階バスルーム。